



編集・発行  
東金市ボランティアセンター  
〒283-0005  
東金市田間421番地  
ふれあいセンター 2F  
☎ 0475-52-5198  
FAX 0475-52-8227  
togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp

ボラセンだより 第20号 2011年8月発行



「夏休みということもあり、里帰りしてきたお孫さんと一緒という方、周辺の施設の方の来場など、まさに「ふれあい」センターで実施したボラセンの「夏まつり」でした。

七回目となった「ボランティアセンター夏まつり」。少しずつ参加者も来場者も増え、今年は八人（七団体）の実行委員、約九十人のボランティア協力をいただきました。会場の「ふれあいセンター」には朝早くから約四百名の来場者で大賑わい。センター館内が滅灯の中で、被災地に向けた「メッセージうちわ」の作成、そして出店による参加団体の中には売り上げを義援金として寄付するところがあるなど、例年とは少し異なった取り組みもありました。メインとなったふれあいオンステージでは、踊り、歌、三味線、マジック、合唱とバラエティに富んだ内容で、司会は城西国際大学の学生が担当。店も過去七回の中で一番の充実。まつりの定番かき氷、フランクフルト、焼きそばはもちろん、カレーやところてん、パンなどが並びました。遊びの広場においては、缶バッチづくりや昔ながらの紙飛行機、わなげ、竹とんぼなどがあり、親子やおじいちゃんおばあちゃんとお孫さんで楽しそうに遊んでいたのが印象的です。さらにはおもちゃの図書館や映画会、足もみコーナーなどが同時に行われ、お子さんから高齢の方までみんな楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

楽しく元気に開催!!  
ボランティアセンター  
「夏まつり」



**ボランティアセンター**  
**ふれあいサロン**

**星空映画会** **魔女の宅急便**  
8月26日(金)  
午後7時  
ふれあいセンター中庭  
**入場無料**  
雨天・強風時は  
ふれあいセンターにて上映

お問合せ  
東金市ボランティア・市民活動センター  
☎ 0475-52-5198

**ボランティア紹介**  
東金市聴覚障害者協会  
会長 今西すみれ

6月8日、29日東小学校で手話の学習をしました。単語の手話（スポーツ、家族、果物etc）を子どもたちに教えました。質問もたくさんしてくれました。子どもたちはとても積極的で、手話を上手に表現してくれて、私たちはとてもうれしくなりました。2日間、子ども達と共に学ぶことができ、私たちもとても楽しめました。

手話を知るために、障がいのある人（耳の聞こえない）と会話をしてみよう！手話を覚えるのは難しいと思うけど、みんなと一緒に成長できて、楽しいですよ。手話サークルというボランティアグループがありますので、ぜひ遊びに来てくださいね。





### ボランティア募集

#### ●子どもたちの遊び相手ボランティア

場所：子ども支援センターほけっと  
日時：毎週月曜日 15時～17時

土日も営業しているので、土曜日

ボランティアをしてくださる方大歓迎  
内容：障がいを持たれている子どもたちとの遊び相手など

問合せ：ちば地域生活支援会

子ども支援センターほけっと ☎50-10081

#### ●子どもたちの遊び相手ボランティア

場所：マナの家（九十九里町片貝）  
日時：相談の上、ご都合のよい日程

内容：障がいを持たれている子どもたちとの遊び相手など  
問合せ：社会福祉法人  
恵泉福祉会マナの家 ☎76-116885



### 助成情報



#### 寄贈東日本大震災被害患者支援基金

(NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会)

東北地方太平洋沖地震等での被災、もしくは福島原発の事故に伴い避難中の造血管細胞移植の対象疾患の患者とその家族で、治療に必要な財源額種が困難な方を対処

※詳細は

ボランティアセンターまで

## ふれあいボランティア塾

### 8月「環境とボランティア」



日時：8月27日（土）  
午前10時～11時30分  
会場：ふれあいセンター和室  
講師：ときがねウォッチング 猪坂玲子さん

内容：環境活動のなかでも、自然保護を中心に活動されています。ときがね湖の自然をどのように維持していこうと取り組んでいるのか、具体的な活動についてお話をいただきます。

### 9月「福祉とボランティア」



日時：9月10日（土）10時～11時30分  
会場：ふれあいセンター栄養指導室  
講師：出越康裕さん  
内容：筋ジストロフィーとう、筋肉が徐々に衰えてしまうという病気にかかり、医師からは「20歳まで生きられるか…」と宣告された出越さん。現在53歳を迎え、車いすで積極的に外出されています。ご自身の体験から、皆さんに伝えていきたいことを話していただきます。



参加費無料。ボランティアセンターへ

## 復興に向けてボランティア



千葉県農業大学校  
研究科2年  
高橋勇太



今回、千葉県共同募金会東金市支会が実施する東日本大震災の募金活動をしました。私は初めてボランティア活動に参加しました。そこで改めて人の優しさというものを感ずることができました。募金活動する前は、「あまり募金してくれる人はいないだろう」と思っていました。それとは逆に多くの人たちが募金活動に協力してくれました。その中には、小さな子どもからお年寄りまで様々な年代の方がいました。今回の募金活動を通して、被災地にボランティア活動に行くことはできないけれど、いくらでも被災地の手助けになるのだと感じました。自分も、少なくとも募金活動には協力したいと思っています。今回ボランティア活動に参加できたことは、これから先自分の為になると思います。次に参加できる機会があればまた参加したいと思っています。

### ボランティアセンターから



「ボラセンだより」第20号いかがでしたか？ご意見やご感想をぜひお聞かせ下さい。「お知らせ」や「情報」などの原稿もお待ちしています。  
東金市ボランティア・市民活動センター  
☎ 0475-52-5198 FAX 0475-52-8227

感想やお便りはメールでもOK！です。  
togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp



戸建てや集合住宅、あちこちでゴウヤを利用した「緑のカーテン」を目にし、ます。「すだれ」や「よしず」と違い、自然な緑、風に揺られる葉っぱを見て、いるだけで涼しげです。更に健康食として人気のゴウヤの実の収穫。「苦み」がちょっと「と」苦手の方もいるか、みじめませんが、慣れてくるとその苦み、茹でた後、調味料でサラダ風に、さらさらとしたソースがあり味もパツツリ。まだまだ暑い夏、節電にも貢献して頑張りましょう。(P.C.O.)

# つぶやき

